

部局名

農学部 畜産草地科学科

担当:坂本 信介



テーマ

あたたかい地域に暮らす鳥獣類の生態・行動を解き明かす



野生動物や家畜、動物園動物、愛玩動物の一部は野外や半野外施設で暮らしており、その場所の外的な環境（光、温度、餌、捕食者など）に応じて行動や生態を様々に変えています。これは動物の飼育や農場の管理上重要な現象ですが、宮崎県のように温帯の中でも特に暖かい地域での動物の振る舞いは実はちょっと特殊かもしれません。

北極やアフリカではなく、宮崎だからできる哺乳類や鳥類の研究、あなたもチャレンジしてみませんか？



詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <http://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-ags/post-60.html>



畜産環境に出現する野生動物

畜舎の周りは野生動物だらけです。農業と自然環境保全の両立のために、地域での野生動物の生態や行動の特徴を調べています。どんな動物かすぐにわかりますか？



最も普通で美しいノネズミ
「アカネズミ」

日本全国に生息し、生態的機能や環境指標動物としての特性が注目されています。あたたかい地域では秋から春に繁殖しており、哺乳類の繁殖を探る上でとても面白い動物です。



”北半球のペンギン？”
「カムリウミスズメ」

ペンギンのような姿で泳ぐこの鳥は絶滅危惧種です。最大の繁殖地である門川町枇榔島の環境を何としても守らねばなりません。